

さて、

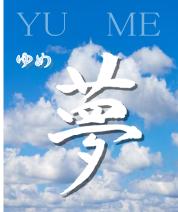
初期の頃、

一年程度で落

ければならず、入手に大変神経を

いました。また、ご入居者には

ルコール等を大量にそろえな



「人生の目的は円満幸福の生活に

ある」との信念に基づき

長寿園理念

新型コロナウイルスとの共存 高齢者がそれぞれ円満で幸福な 貢献します。 支援を行うことによって社会に 生活ができるよう所要の協力と

半が過ぎようとしています。 の二月頃からでした。もう、 ロナ禍が始まったのは、 昨年 作年 一年

理事長

加藤

伸一

そのために、この「夢」の発行も と及び経営の維持に努めました。 たので再び「夢」発行の準備にと したが、ようやく一呼吸できまし )感染予防に取り組み、ご入居者 かかる事ができました。 日々の安心した生活を守るこ 年以上休まざるを得ませんで まりました。すべての力を結集

> でした。トイレットペーパーの不 供のいる職員は公私ともに大変 校があり、 ら四月にかけては学校の一斉休 と数年はかかると言われ始めて ちつくだろうと言われていたコ が思いだされます。特に高齢者施 ではありましたが日用品の欠乏 足や小麦製品の不足など、一時的 います。思い返せば昨年の三月か ロナ禍は、 初の緊急事態宣言で子 落ち着くどころか、

> > す。

ウイルスとの戦いが始

の三月以降は長寿園でも未知

ての経験になかなかご理解をい て深く感謝申し上げます。 予防対策 全職員の公私両面における感染 たご家族の皆様のご理解ご協力、 来訪や面会もままならなくなっ に済んでおります。 今日まで一人の感染者も出さず たご協力もいただいたおかげで、 ただけない側面もありました。 ただきましたが、長い人生で初め 感染症や当時の社会状況につ て、 かなり丁寧にご説明させてい 徐々にご理解いただき、 の賜とこの紙面を借り この成果は

策をとりながら少しずつ新たな スタイルを作り始めております。 ていますが、長寿園では感染防止 存するかということになってき スとの戦いは今やどうやって共 長期戦となったコロナウイル

設ではマスク、

体温計、

予防着、

【発 行】 ·般財団法人長寿会 小田原市入生田 475 TEL. 0465-24-0002(代) ま 集 /広報委員会

例 ように、さらに工夫してまいりま 様の生活が少しでも快適になる となっております。 は会食ができず、お花の贈呈のみ たので、毎月行っていたお誕生会 催し物等も新たな形で順次再開 祝賀会を実施しました。その他 としましたが、 R検査は来年三月まで継続 に加えて全職員の二週毎のPC おります。引き続きご入居者の皆 えてでも開催できればと思って できませんでした。今年は形を変 ての食事会ができなくなりまし しております。 二回に分けて食堂での簡易的 えば昨年の敬老祝賀会は中止 ス会食も新年の会食も前 なお、これまでの感染防止策 今年は食事時 なお、一堂に会し また、クリス しま 口 間

たします。 ご理解ご協力よろしくお願い どの感染防止策の継続をお願 また、ご入居者にもマスク着用な いしていかなければなりません。 訪は、まだしばらくは自粛をお願 なければなりません。今後とも ご家族やご友人の皆様 いのご来

入居者 三好

座り、 ながら思いをめぐらせていた。 ある夏の日の夕暮れ、テラスに まわりの森と遠い海を眺め

うしたなかで始まったここでの わったところがあるだろうか。新 ここでの毎日は、 じんできたが、振り返ってみて 日々である。 顔をあわす方はすべて初対面、こ しいすまい、新しい環境、園内で 年。ようやく日々の暮らしにもな 長寿園に入居してまもなく一 以前の生活と変

夢

いくつか気づいたことの一つ 新聞を読まなくなったことで

ーで読んでいたのだが、次第にロ は部屋にとりよせ、その後はロビ 新聞のない生活は考えられなか を開くことから始まるのが常で、 た。 これまで何十年の間、 園に入居してからも、当初 朝は新聞

ある。

ようになっていたわけだが、考え 動きからはなれて毎日をすごす 日が何日も続くようになってい のうち気がつくと、新聞を見ない ビーに出る間隔があいてきた。 てみると、それで格別不都合はな た。意識しないうちに遠ざかって いたのである。いわば、世の中の

すと時代に取り残される不安を がある。 ことを生き甲斐としている御仁 大都会に住み、渦中を動きまわる 時折会う友人のなかには、 世間の動きから目をそら 今も

> 陥るひとつの陥穽だろう。 感じるようだが、それは現代人の 山中の仙人ではないが、世の

に意を払うようになったことで さのなかで、なにかひとつ、境地 の雑音からはなれて暮らす静か を得たような気がしている。 二つ目は、これまで以上に健康

室に参加し、つとめてからだと脳 体操やいきいき元気会、脳トレ教 をみつけて歩くことに加え、朝の ちらに来てからも周辺のコース を動かすことにしている。 オーキングを日課としてきた。こ 大切さを考え、テレビ体操やウ 以前からからだを動かすこと

のことながら生活の基本で、以前 気を配るようにしている。 日課を守ること。これは当たり前 から変らないが、これまで以上に っかり食べること、よく寝ること、 それと健康ということでは、 し

実りあるものにするため付け加 始まりには、その日を少しでも 日課については、ノートをつく 毎週週間予定をたてる。一日

> ズムが生まれてきたと実感して を送れるとともに、いい生活のリ ねりなおす。こうしたことを丁寧 えるものがないか再考し、計画を に繰り返すことで前向きの日

ようになった。 でシンプルな生活を実現できる よそ八割は処分しただろう。これ しの際、これまで周りにあった 「モノ」を大整理したことだ。お もうひとつ大きな変化は、 引越

雑念、 とに専念する環境づくりができ と訣別した。その結果もろもろの 思い出を含めたさまざまの過去 で背負ってきた過去―事跡、諸縁 そしてモノだけでなく、これま 残滓を払い、今を生きるこ

精 とだけを考えている。 れたと思っている 今はただ、「簡明に生きる」こ 神の健康に大きな前進が得ら すなわち、

できるし、なにもしないですごす 時間が手に入ったことである。こ  $\mathcal{O}$ 三つ目に変ったことは、無限 時間をいかように使うことも



園の居室で静

自 然に

. 囲 ま

はないだろう。 のも自由である。これほどの贅沢

るはずだ。 送るところに本当の愉しみがあ にかにとり組み、実りある日々を たのしむのもひとつだろうが、な 日を愉しむべし」とある。 古訓に「老いては従容として時 無為を

まちであり旧跡が無数にある。 こちを観て歩いた。ここは歴史 これまでに訪ねたところ(一年 入居後手始めに小田原のあち

堀・西堀、 田中伯別邸、 目の記録)小田原城、 清閑亭、 石垣山一 老襷荘、 白秋旧居、大堀切 夜城、 古稀庵、 報徳二宮神 尊徳生 旧 東

家・記念館、

大雄山

る。また、若いこ

夢

ている。 太寺、 最乗寺、早雲寺、 列。このどれにも時 かど博物館、旧街道 1の歴史が息づい (数か所)、 松原神社、 大名行 街 紹

(旧·黒田長成別邸) 内装

隣に住むことにな めぐりは、わが の名勝地 次に箱根 箱 0) 根 国 温

> ある。 物がならんでいる。コロナ自粛を きた。 った特権だ。これまで湯本中心に 泊し心とからだを解放している。 園の ・五か所の行きつけの温泉がで 読書に時間を使うことにし 日帰りで行くが、時には いずれも豊かな自然の中に 図書室にはさまざまの書

ある。 ぞれに教えられるところが数々 ながらにして触れることができ 素晴らしい自然や文化遺産に居 どっさりある。目についたものを まずは先輩老人の著書、 世界遺産集、これは世界の 読む。先輩の教訓談はそれ これ

を改めて感じさ 迫る文学の重み ともに、どっしり 憶と懐かしさと ると、かすかな記 や文学全集は、 ろ親しんだ古典 ぶりに手にと

> に貴重な豊かな時間になってい かに読書するこの時間は、しだい

じていることがある。 長寿園に入居して、しみじみ感

ある。この「自由・安心・平穏 らぎの日々を送れていることで があること。三つ目は「平穏」 こと。二つ目は「安心」―今は元 長寿園には、なにをし、どうすご えられない宝である。 高齢者にとって、なにものにも替 は、園に身を托しているわれわれ 整った静かな環境のなかで、 っても対応してもらえる安心感 気にしているが、今後なにが起こ すかについての全き自由がある そのひとつは「自由」である。

ぱい生きてゆきたいと思って

顧みて、果たしてこれでよいのだ たがこれは必ずしも正しくない。 索しながらのこの一年だった。 ろうかと、意義のある生き方を模 てはならない。日々のすごし方を 先に無限 ただこの恵まれた環境に甘え 余生を安穏に送るだけになっ の時 間があると書い

か。 願はくば、

今あるのは、いつ終わるかも知 ない「限りある時間」と捉える方 まないといけない。 が正しいだろう。 一刻々々を惜し

禅境に至る道は遠い。今はただ、 つつ、おゝらかに、そして精いっ まま」生きることであるが、この 日々々を無駄にせず、 ベルを高くすることを心がけ 志しているのは「無心にありの -清風明月を払う― いのちの

以上望むものはない一そう考え いうものは現実にあるのだろう かで旅立つことができれば、それ 「思い残すことのない生涯」と そうした境地のな

令和二年九月記

## 0 日4

### 一般の社会にない安心

コロナ、コロナに翻弄される毎日ですが、世の中がまだコロナに慣れていない昨年、より安心の生活を求めて長寿園に新入居された方々がおられます。その中のお二人にご寄稿いただきました。

自分一人では手に負えない状況 しました。もし介護ホームに入居 することが遅れたら自分の生活 は無くなっていたことでしょう。 が護は時間に関係ありませんし

老後は故郷の山形(鶴岡市)に 考え、厳しい冬の突風を思い浮か べていました。ところが女房の心 べていました。ところが女房の心 でしたのなり、介護ホームを考え 事となり私が家を空けることが 中わなくなり、介護ホームを考え ることになりました。考える事が ることになりました。考える事が ることになりました。考える事が のか分かりません。会社の先輩が 一〇年前から長寿園に入居して のない所でしたが入居すること になりました。

りませんしが作る作物でも形は悪いが新鮮日分の生活の史跡と自然環境はこれからじームに入居の史跡と自然環境はこれからじーの入院をして裏の畑の先にある稲葉一族団の入院をして裏の畑の先にある稲葉一族団の入院を

大居者 鈴木 啓五市)に も間々あります。

日の終わりに温泉のような風呂がなく気持ちがいいものです。一で美味しい。そして農作業は雑念

に入って先輩の話しを聞くのは

楽しみであり参考になります。

先日、テレビに出演した加

んは毎日兼子が違い青兄のなへルパーの皆さも間々あります。

出来ることをする気力だ、と言っ

も励みになり、

最後は自分で

れたのは周りの援助がとて山雄三が、脳梗塞から立ち直

ています。

長寿園は箱根の山麓にあり小る老人の介護を平常心で常に笑るがます。身体の扱い方とか介護なります。身体の扱い方とか介護なります。身体の扱い方とか介護なります。身体の扱い方とか介護なります。身体の扱い方とか介護

います。
老後の生活に再出発したいと思援助を受け、設備を利用しながら



でしたが小田原の老舗と食材はました。あまり関心もありません松市に単身赴任の頃通過してい田原市が生活圏です。これまで浜

「ヒグラシの鳴き声がうれしい」

八月一六日、

は自

作

ったことになる。ここの生活

加えて頂き、

野菜と花を育てて

春夏野菜は数えると一二種

いた経験があり、

遠

[の畑の]

神間に

んでいる。

また、

農業塾に入って

近くの石垣山を歩いて楽さ

# 事だけをして暮らしている。 一由なの 好きな事、

園の裏山の畑にて河本様

# 安心と楽しみを手に入れた

## 河 園

さにリ 海 コーヒーを楽し を見ながらベランダ 屋 は六階の為、 眺 望

から の山並が見渡せる。散歩に出て 面 相模湾や三浦半島を見下ろし、 人に会う事が少なく安堵した。 [塔之峰の支尾根中腹に位置 、込んで来た。 には 京は れたらとの不安に駆られて、 一人暮らしだったので、 脱 ゾート契約し 出 夜 城と呼ば ナ感染者も人出 ここは、 年以上が経 てい れる石 た園に逃 箱根外輪 既

私の

趣味は

登山と植物観察な

金時

荊

明 神

・明星ヶ岳を

る。 越して来て良かったと思って ゾートである。元気な内に むこともあり、 で食事や

#### コロナとの闘い



一昨年12月、「コロナウイルス感染症」発症者のニュース。他国の事と傍観していた期間はあ っという間に我がことになりました。感染力の強さにただただ驚き、焦るばかりでした。

クラスター(集団感染)に備えるにも、感染症対策に効果的なアルコール消毒液や、プラスチ ック手袋は品薄、欠品といった状況で園内の在庫が心配になった時もありました。空気清浄機や 各棟へのアルコール消毒液の設置、ご入居者・職員の毎朝の検温に加え、1 日 2 回の換気、館内 の全て手を触れるような場所の消毒を毎日職員交代で行っています。人は「集まらずに」「近づか ずに」と呼びかけ、マイクロバスを運休し外出を控えて頂くようにと我慢の時が続きました。職 員のプライベートも注意喚起を促し、ご入居者も職員もストレスを募らせたと思います。

ようやく、3 密回避・不織布マスクの効果等徐々に対策が明確にされて、今年ワクチンの接種 が始まり、7月初めには全入居者職員の接種が終了しました。ご入居者の運動不足やストレスを 考えるといつまでもじっと耐えている訳にもいきません。パンの移動販売車の導入、2メートル の間隔を取って朝の体操を開始、オンラインで外部講師と器楽の会が再開となり、今年の敬老の 行事は、<br />
思い出展として作品を飾り、<br />
2 部式で食事会・お祝いの場を設ける事ができました。

日々のレクリエーションを対人から動画に変え、今後も感染対策を考えながら出来る事を増や して行けたらと日々考えております。

相談課課長 佐藤

# コロナ福の一年半

#### --- 2021年敬老の日 ---



作品展は「思い出展」と名称をかえ、以 前作成された作品や思い出のお写真を展 示しました



お食事は2部式で行ない賀寿の方へ祝い品 を贈呈させていただきました。



完成度の高い作品や若いころのお写真に お話が弾みました



祝い膳



祝い品贈呈

#### 行事・クラブ活動



オンラインでの器楽の会



七夕飾り



マージャン



蓄音機

お月見会(介護棟のみ)いの会を実施)

敬老週間・作品展・キネマ

(食事会と簡略化したお祝



九月から職員の定期的なPCR 検査の実施 六月 全入居者、職員ワクチン接種開始 令和三年

## 諸活動

令和二年三月~

園内行事・諸活動・面会など中止

令和三年 一 九 月 月 書道会録画映像にて再開 クリスマス会食※二部式 面会制限の緩和 諸活動要件を設け再開

八 月 月 三月 蓄音機を楽しむ会 盆の送り火・迎え火 器楽の会オンラインにて再開 初顔合わせ※二部式 パン屋移動販売開始

※全ての再開・新規実施諸活動では感染 症対策を行っております。

感染症対策

整備、空気清浄機、予防着、フェイスシー触サーモカメラ、アクリル板、館内 Wi-Fi 触サーモカメラ、アクリル板、アルコール自動噴霧器、大型加 毎日館内消毒、 全入居者、職員の毎日の検温 ドなどの感染症対策用品の購入、 換気の実施 大型加湿器、



毎日の検温・消毒



ご入居者・職 員のワクチン 接種

7 月初めに希 望者 2 回接種 完了



『サーモカメラ(エントランス)』



消毒器



空気清浄機

#### 行事・クラブ活動











小田原市の新しい文化・芸術拠点となる「小田原三の丸ホール(正式名称:小田原市民ホール)」が、9月5日に、開館しました。多くの文化・芸術の交流拠点として、今後使用される予定です。敷地内にはデッキで繋がっている隣の施設「にぎわい広場」や「CAFÉ SANNOMARU」がありお散歩の休憩にも利用できそうです。

【場所:お堀端通り 馬出門前】



#### 「小田原三の丸ホール

#### (小田原市民ホール)」

広場内の庭には、昭和の時代に小田原駅-板橋駅の国道 1号線を走り"チンチン電車"の愛称で親しまれ、74年ぶりに小田原に帰還した路面電車「小田原市内線モハ 202 号」(長崎電気軌道 151号)が設置され新たなフォトスポットとしても人気!営業時間は 10:00~17:00※ランチ営業 11:00~14:30 (それ以外はカフェタイム)

【場所:国道1号線 箱根口交差点付近】



#### 「箱根口ガレージ

#### Hakoneguchi-Garage

していければと思っております。 新たなスタートとし、これからまた発信 取り戻し始めている園の様子をこの号を 返ることができました。少しずつ活気を 返ることができました。少しずつ活気を がってからの一年半を編集を通して振り が中止に



ミナカ小田原は江戸情緒薫る「小田原新城下町」と、近代的なタワー棟に分かれ、フード・飲食を中心に多様な店舗が展開しています。「西湘フードスタジアム」には、小田原・西湘エリアの地元人気飲食店が勢揃い。昼も夜も楽しめるようなゾーン構成となっています。

【場所:小田原駅東口より直結】

#### [minaka 小田原]